



地域の口腔がんを考えるシンポジウム 第4弾 関西・四国・山陰編
兵庫県歯科医師会館 2018年11月11日



神戸大学医学部附属病院における 口腔がん治療の現状

神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 口腔外科学分野

古森 孝英 (KOMORI Takahide)

本日の内容

- ① 大学・医局紹介
- ② 口腔がんとは
- ③ 兵庫県の口腔及び咽頭がん
- ④ 神戸大学病院における口腔がん診療
- ⑤ 口腔がんの注意すべき初期病変

神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野

神戸大学医学附属病院歯科口腔外科

口腔機能管理センター

- ・スタッフ:歯科医師91名(大学46名、関連病院45名)、歯科衛生士5名、歯科技工士2名
- ・外来:歯科ユニット13台
- ・病棟:病床数18、歯科ユニット2台



口腔機能管理センター

がん(手術・化学放射線療法)、心臓血管手術、臓器移植等の患者さんの口腔内感染巣の検索と除去を行い、周術期の合併症(誤嚥性肺炎等)や口腔内感染症の発症を予防。

神戸大学附属病院各診療科

耳鼻咽喉頭頸部外科
肝胆脾外科、心臓血管外科
腫瘍・血液内科
その他

対象となる患者は…

がん患者
(周術期、放射線療法、化学療法)
心臓血管手術患者
臓器移植患者
易感染性患者

歯科口腔外科のない

他病院

口腔機能管理センター

歯科医、歯科衛生士、歯科技工士
口腔内感染巣の検索・歯科処置
専門的口腔管理(プラークフリー)
周術期の口腔管理(プロテクター作製)
口腔粘膜炎の予防・ケア
咀嚼機能の回復支援

歯科口腔外科

歯科口腔外科医
口腔がん、顎変形症、顎骨骨折などの治療
歯科インプラント
レーザー治療
顎矯正治療
智歯などの抜歯

他病院の歯科口腔外科

歯科医師会(開業医)

神戸大学関連病院・関連施設

(常勤)

足立病院
川崎病院
藤井政雄記念病院
済生会兵庫県病院
JCHO神戸中央病院
加古川中央市民病院
新須磨病院
西脇市立西脇病院
兵庫県立淡路医療センター
兵庫県立がんセンター
広野高原病院
三菱神戸病院
北播磨総合医療センター
関西リハビリテーション病院
神戸低侵襲がん医療センター
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
兵庫県職員健康管理センター
三菱日立パワーシステムズ高砂健康管理センター歯科

(非常勤)

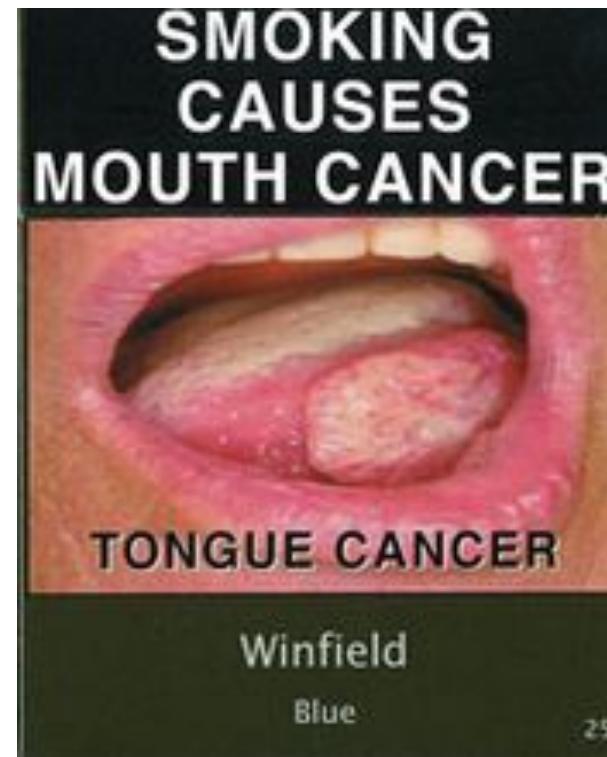
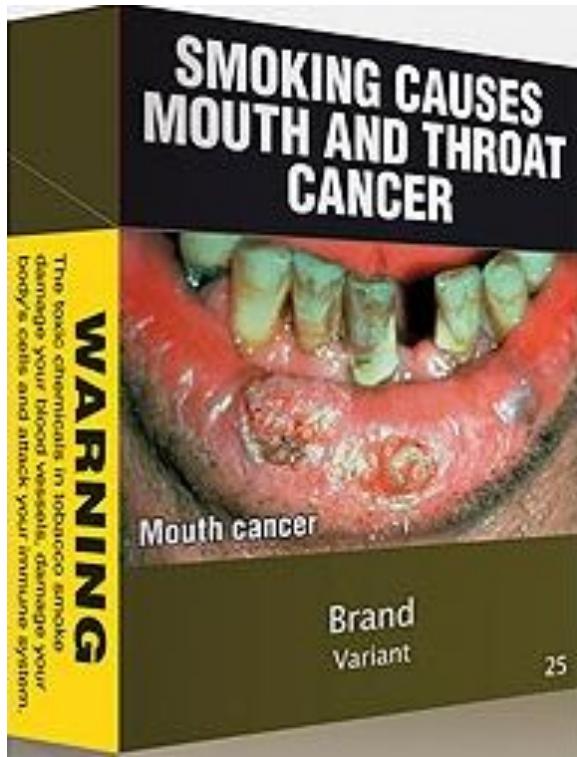
兵庫あおの病院
兵庫県立リハビリテーション中央病院
兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター
加古川歯科保健センター
こうべ市歯科センター
神戸白鷺病院
順心会津名病院
順心会介護老人保健施設白寿苑
宝塚三田病院
明石土山病院
有馬高原病院
キヤタピラージャパン株式会社明石事業所健康管理室
神戸拘置所



歯科医師会との連携 ～三木市との口腔がん検診の取り組み～

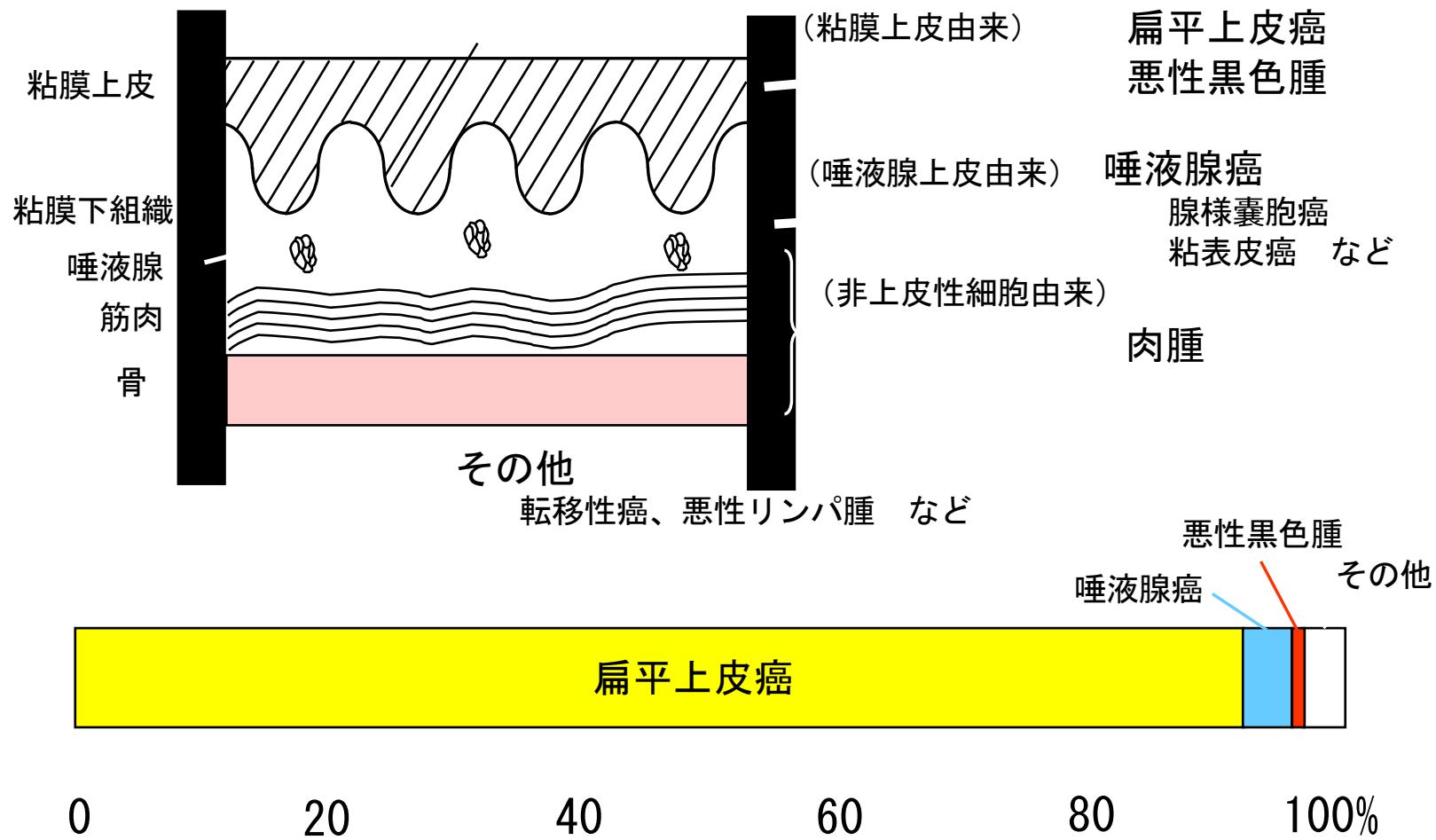
	H25	H26	H27	H28	H29
申込人数	1053	801	885	734	716
受診者数	872	626	695	601	611
対象者数	49,734	49,895	50,123	50,390	50,544
受診率	1.75%	1.25%	1.39%	1.19%	1.21%
再受診者数				276	317
再受診者率				45.92%	51.88%
精検者数	6人	1人	1人	3人	11人
	血管腫 2人			舌上皮内がん 1人	腫瘍 5人
	線維腫 2人			びらん 1人	白斑 3人
	白斑 1人	抜歯窩治癒不全	舌腫瘍(線維腫)	白斑(異形疑)1人	白板症 1人
	角化病変 1人				扁平苔癬 2人
申込者受診率	82.81%	78.15%	78.53%	81.88%	85.34%

② 口腔がんとは



海外のタバコ警告パッケージ
喫煙は口腔がん・咽頭がんをまねく

「口腔に生じる悪性腫瘍」 = 「口腔がん」



口腔がん

- ☞ 口腔癌の罹患率は全癌中の1~2%、全頭頸部癌の約40%を占めると推定される。
- ☞ 口腔癌の中では舌癌が最も多い。
- ☞ 頭頸部癌の中で最も比率の高い部位は甲状腺、続いて喉頭、舌は3番目である。
- ☞ 口腔癌に罹患した有名人
 - 口底癌…花田満（初代貴乃花）
 - 舌癌…徳永善也（チェッカーズ）
 - 舌癌…ケーシー高峰
 - 舌癌…石原裕次郎

口腔がんの発癌リスク

- ・ 口腔不衛生で喫煙、飲酒の習慣がある男性はそうでない男性の7.7倍のリスクがある。 (Grahamら)
- ・ 飲酒を伴う喫煙は喫煙単独に比しリスクは3倍になる（アルコールがタバコ中の発癌物質の溶媒になる）。 (嶽崎ら)
- ・ 生野菜や果物を頻回に摂取する場合はリスクが低下する。
(嶽崎ら)
- ・ 歯の鋭端、不適合義歯などによる慢性刺激がDNA修復能に異常をもたらす。

舌 癌



舌癌と思われたが実際は違った例



不良義歯による舌の炎症性肉芽



誤咬による褥瘡

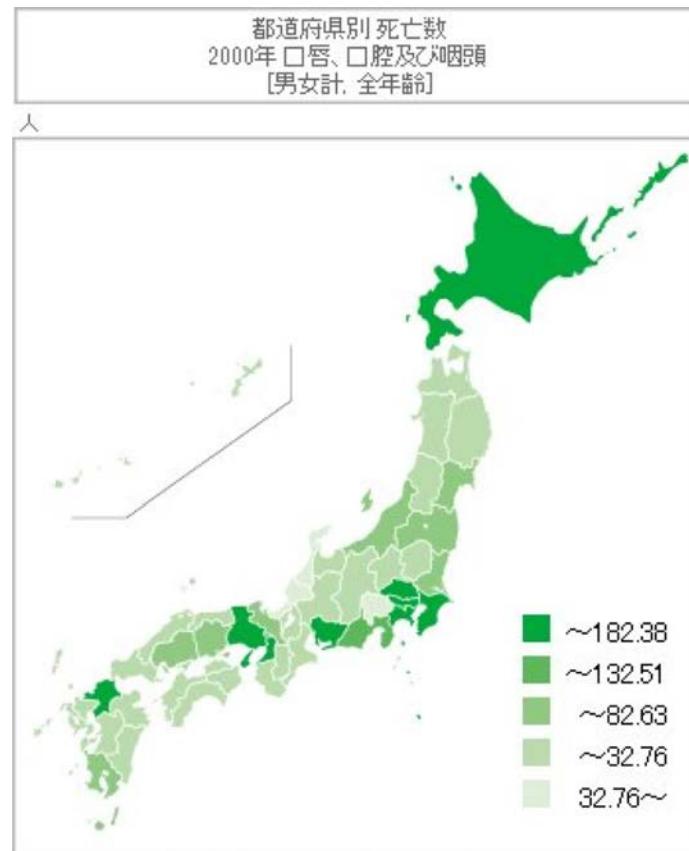
口内炎と思われたが実際は舌癌であった例



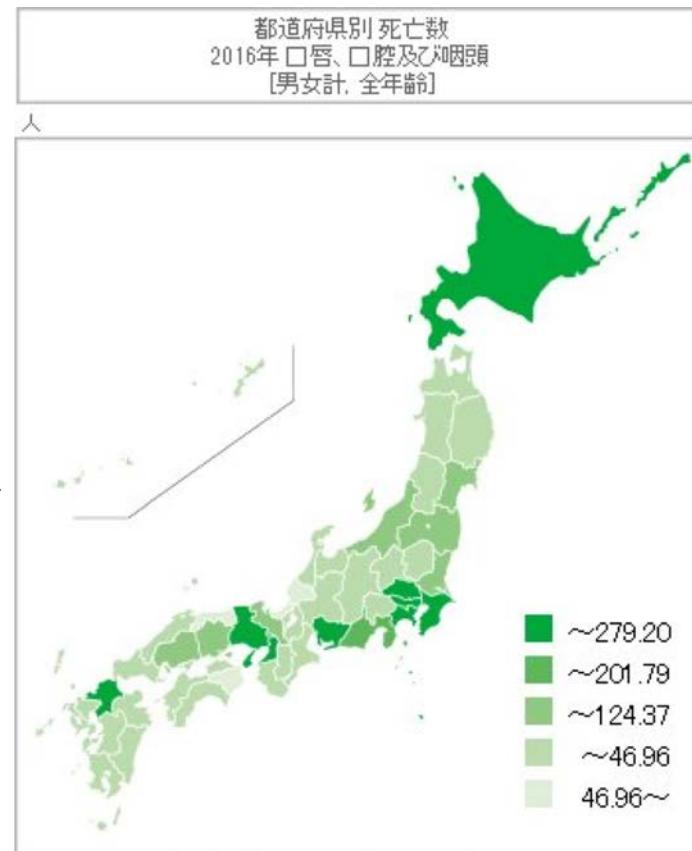
③ 兵庫県の口腔及び咽頭がん

死亡数の変遷

2000年 240人/555万人



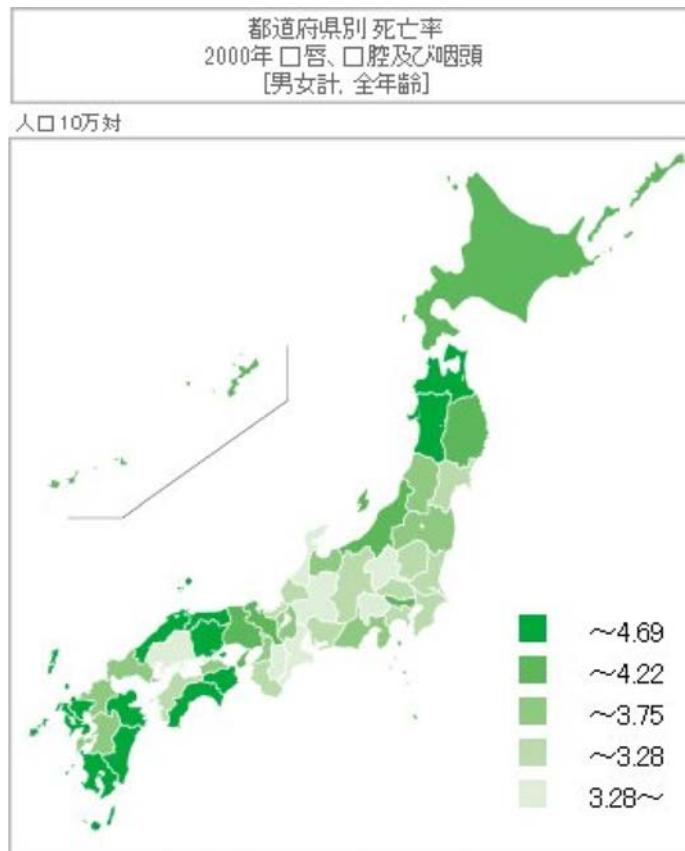
2016年 317人/552万人



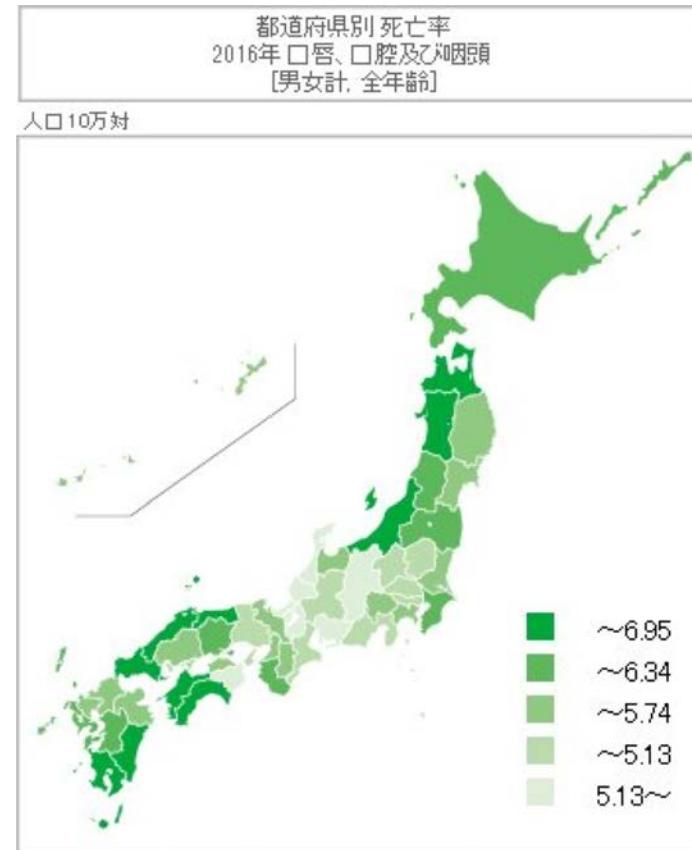
③ 兵庫県の口腔及び咽頭がん

死亡率の変遷

2000年 4.03人/10万人



2016年 5.74人/10万人



兵庫県および全国における口腔がん受診患者数

(日本口腔外科学会疾患調査)

	兵庫県	全国	兵庫県/全国%
2001	204	5342	3.8
2002	187	4073	4.6
2003	184	4752	3.9
2004	242	5105	4.7
2005	251	5847	4.3
2006	281	5767	4.9
2007	315	6023	5.2
2008	267	6064	4.4
2009	276	6300	4.4

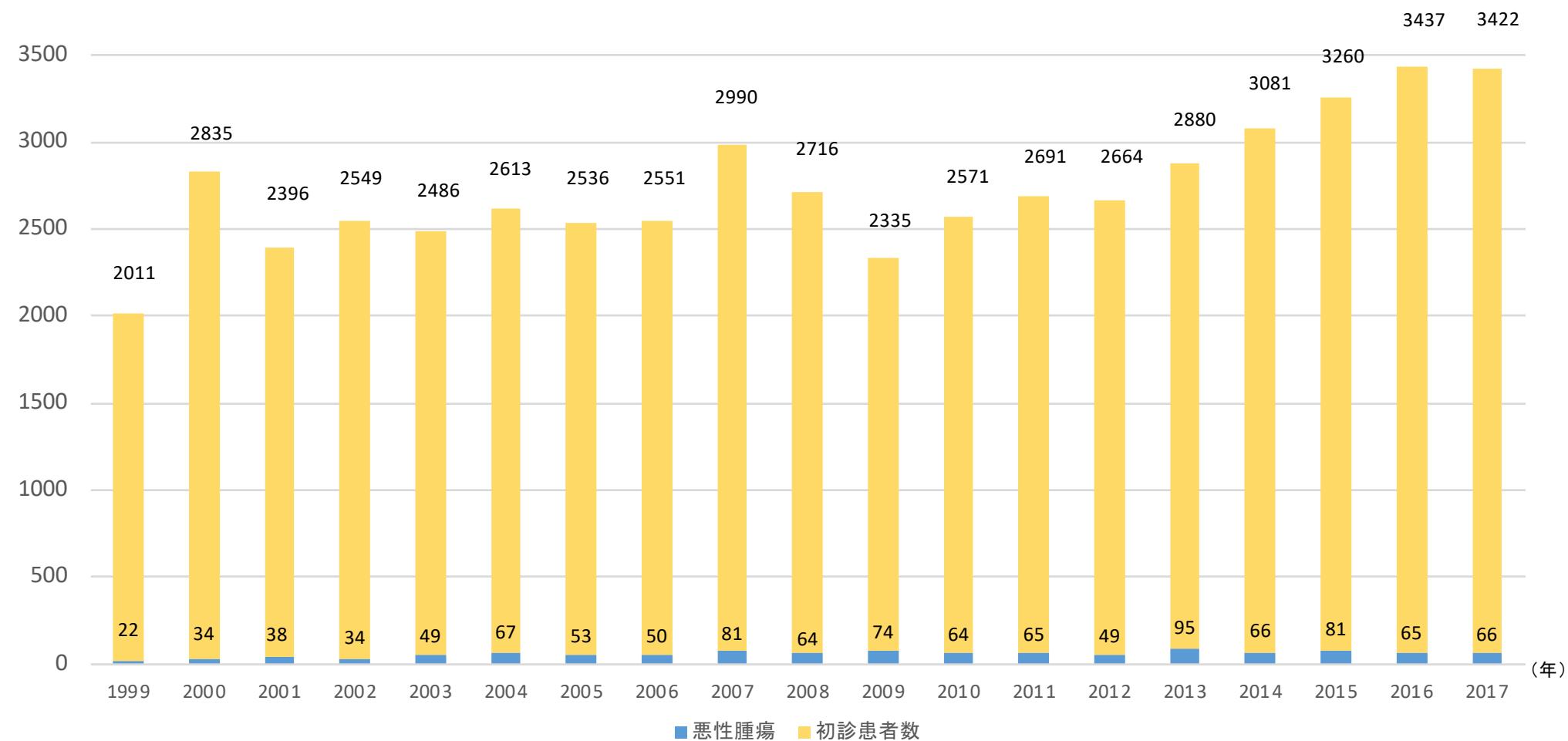
神戸大学病院における口腔がん診療の特徴

1. 大学とがんセンターに集約
2. 隣接診療科との密接な連携
3. 手術を第一選択
4. 再建手術の充実
5. 初期癌に対するレーザー手術
6. 国際がん医療・研究センターおよび
神戸低侵襲がん医療センターとの連携
7. 地域医療との連携



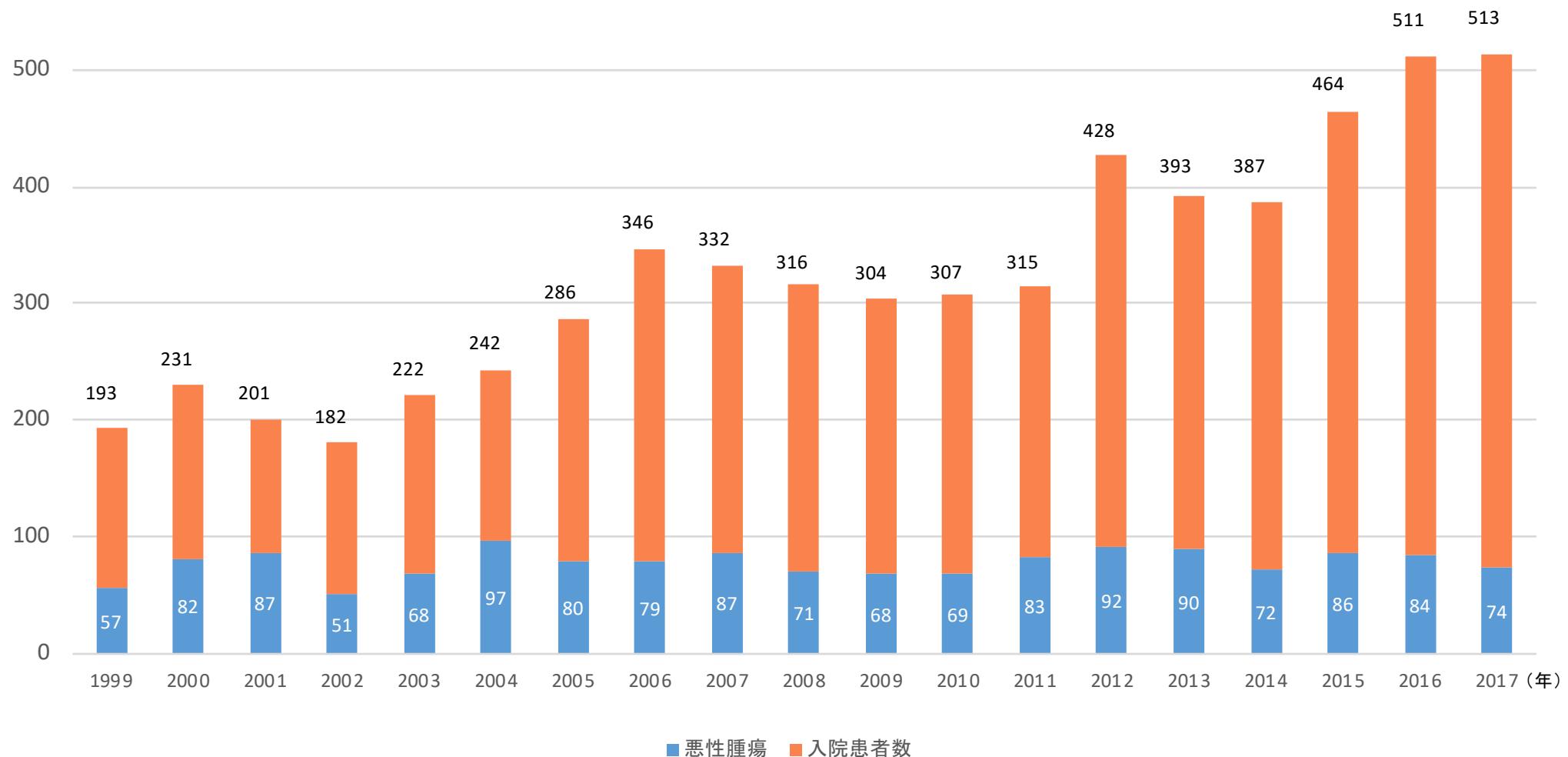
初診患者における口腔がん患者数

(人)



入院患者における口腔がん患者数

(人)



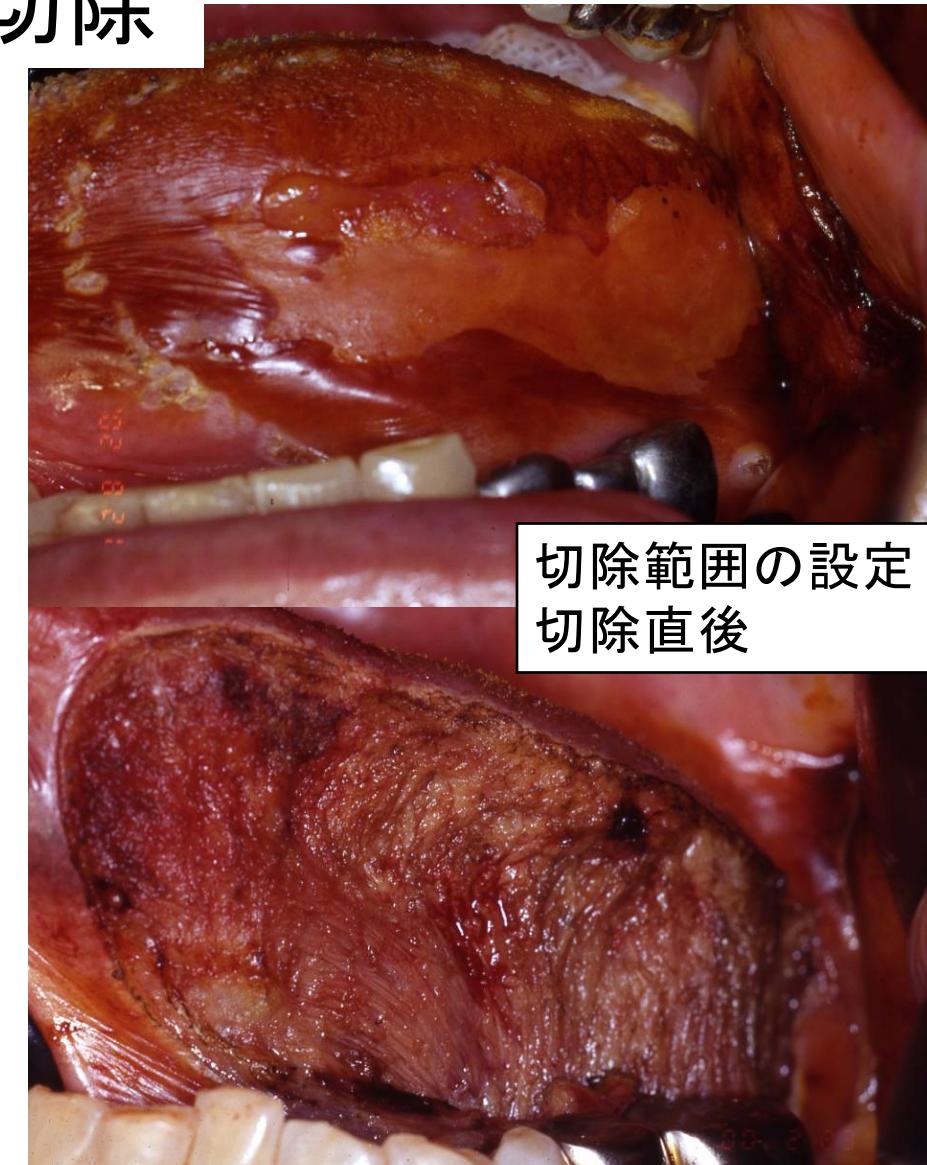
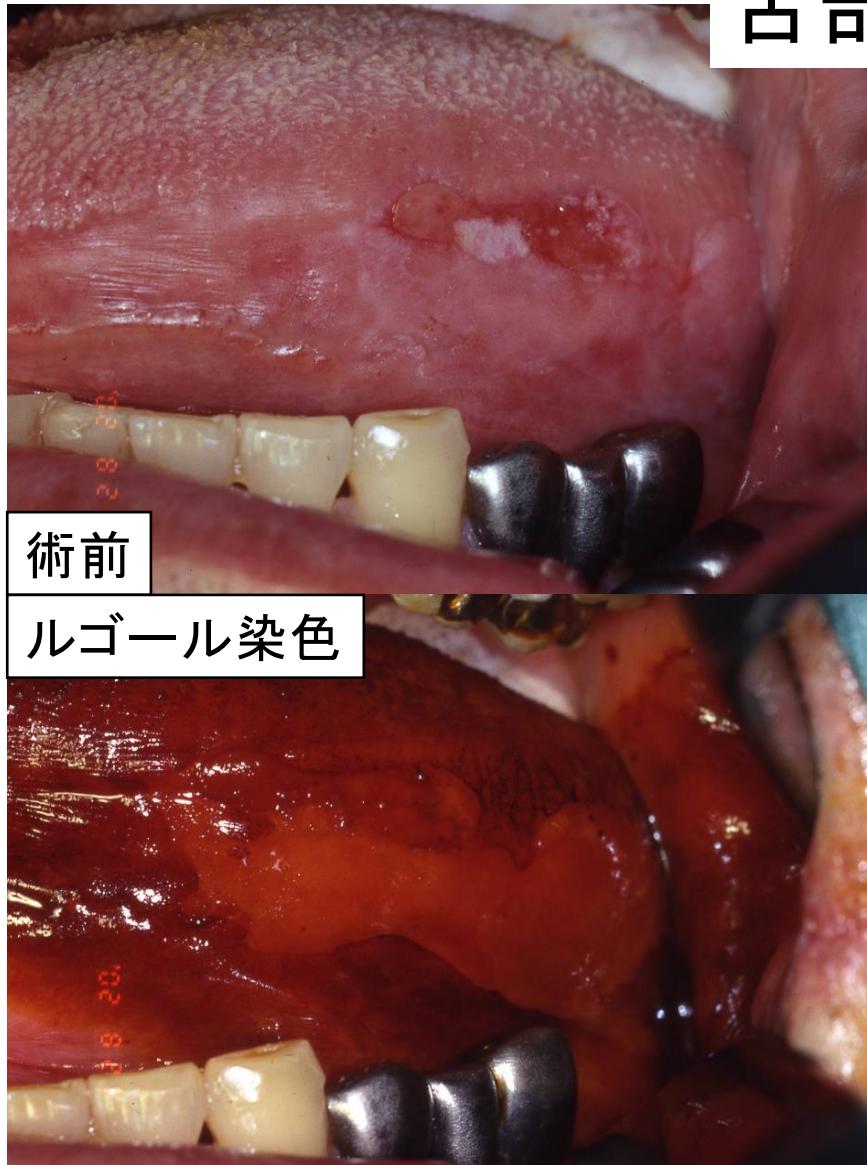
口腔がん病期別(早期癌:Stage1・2、進行癌Stage3・4)患者数



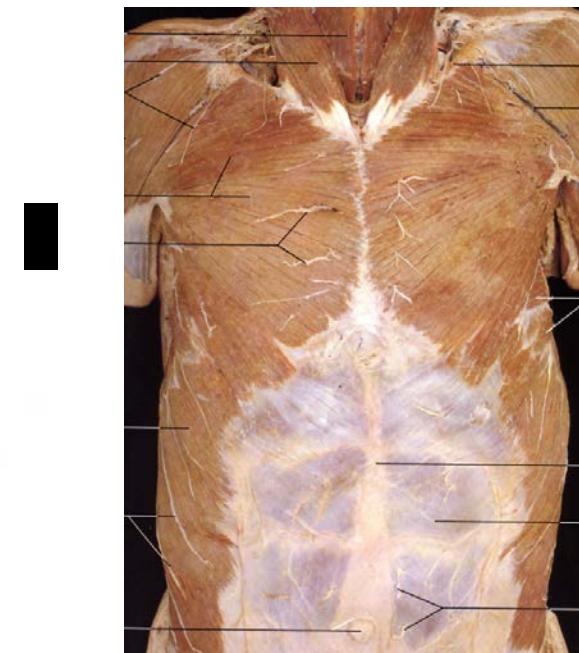
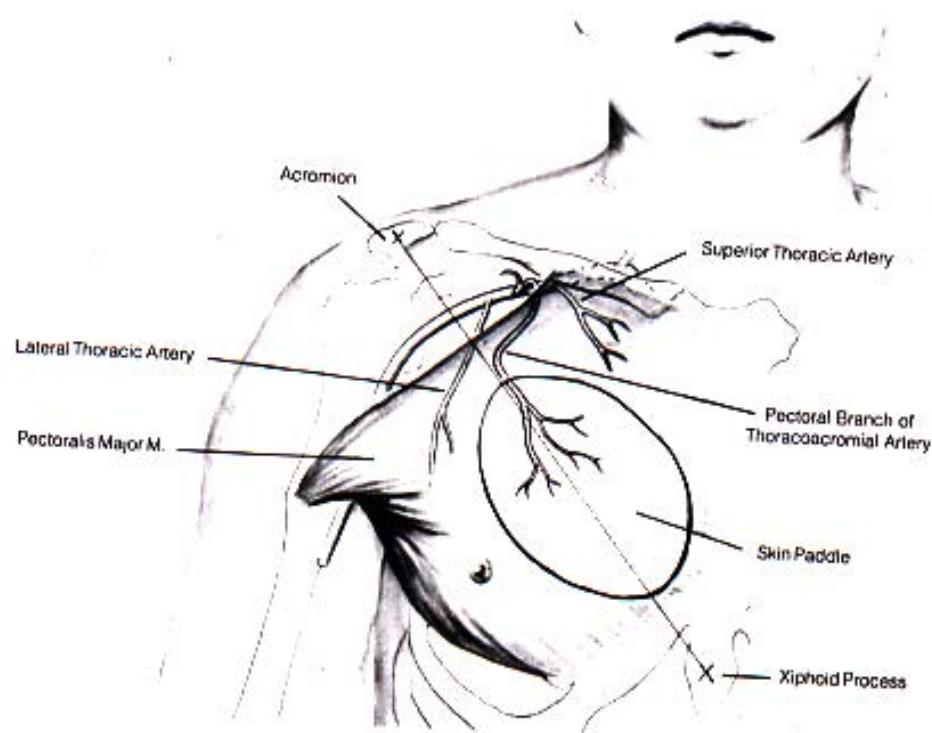
再建、頸部郭清、前癌病変手術数

	癌手術	再建手術	頸部郭清術	前癌病変
2011	75	47	42	8
2012	60	44	53	18
2013	58	25	38	12
2014	41	29	29	13
2015	59	31	34	19
2016	53	38	31	11
2017	50	33	32	12

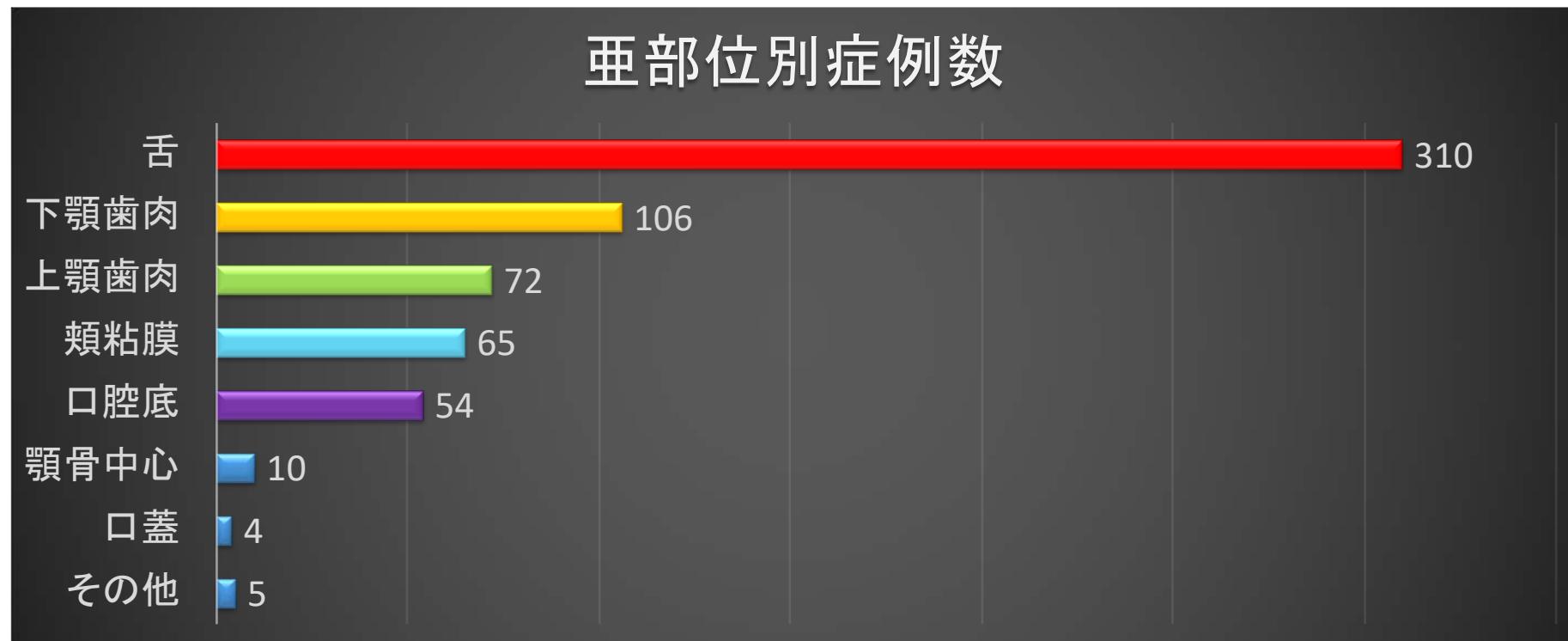
舌部分切除



大胸筋皮弁(有茎皮弁)

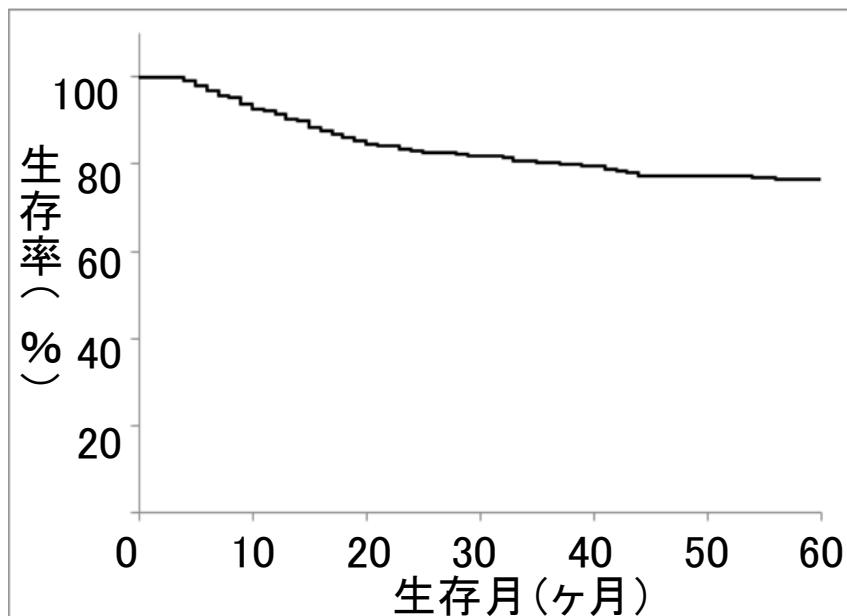


神戸大学口腔がん手術症例治療成績

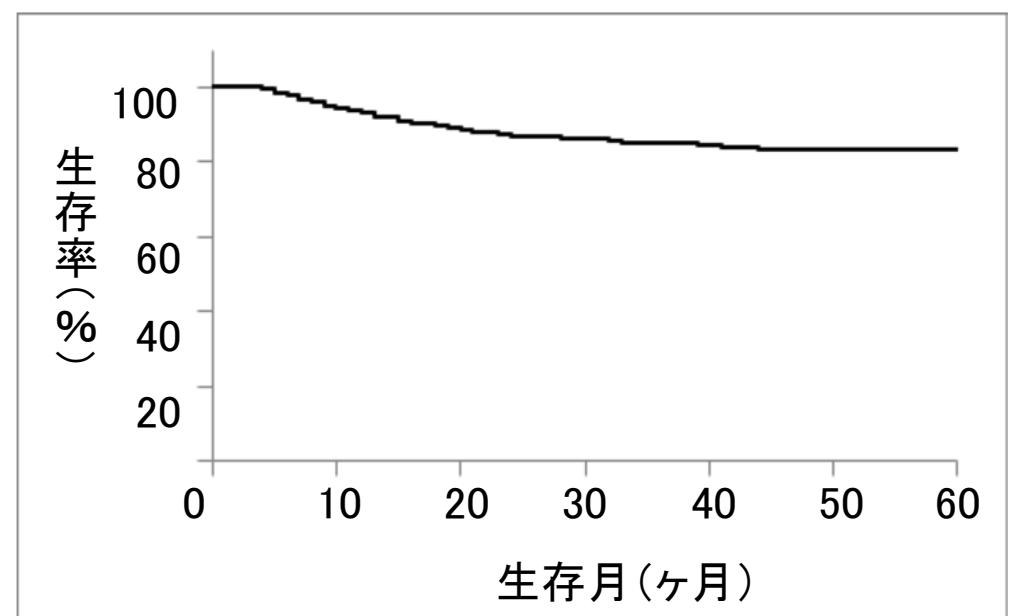


神戸大学病院における口腔がん診療

全手術症例の治療成績



5年全生存率(OS)

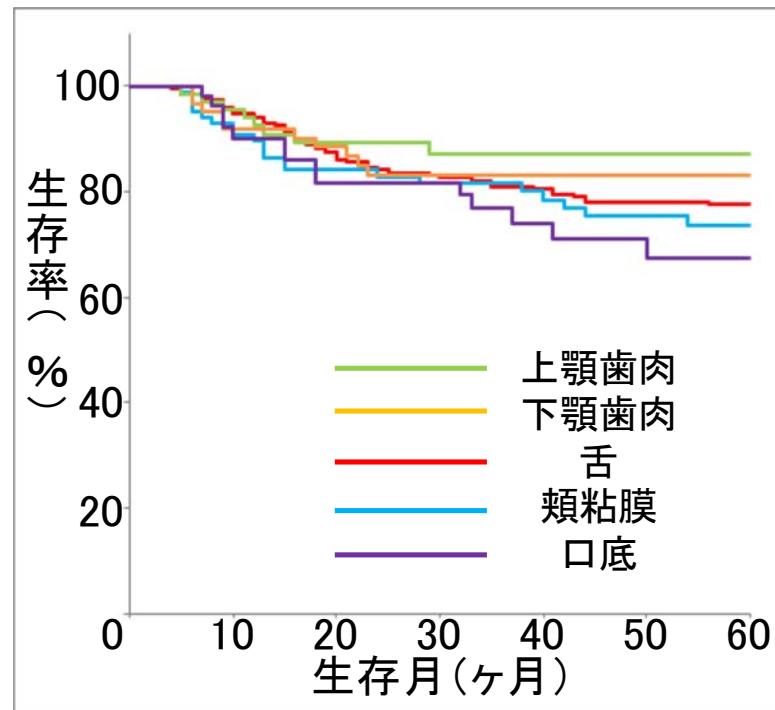


5年疾患特異的生存率(DSS)

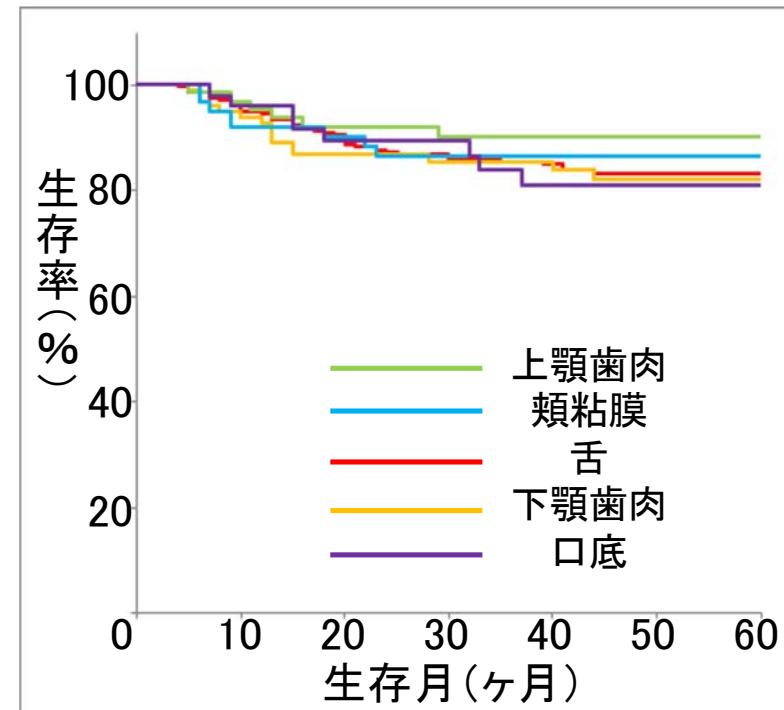
手術症例620例の5年全生存率(OS)は76.6%、5年疾患特異的生存率(DSS)は83.4%。

神戸大学病院における口腔がん診療

原発部位別の治療成績



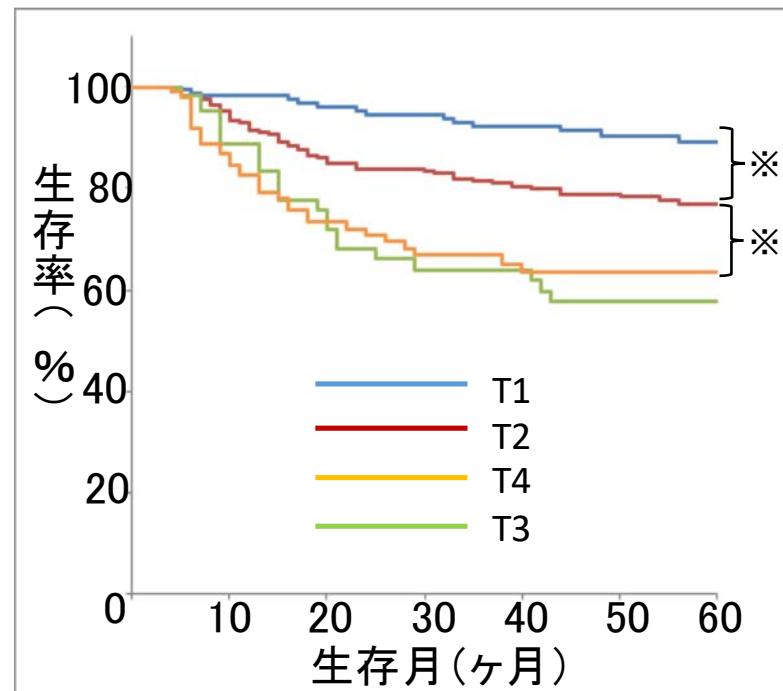
原発部位別
5年全生存率(OS)



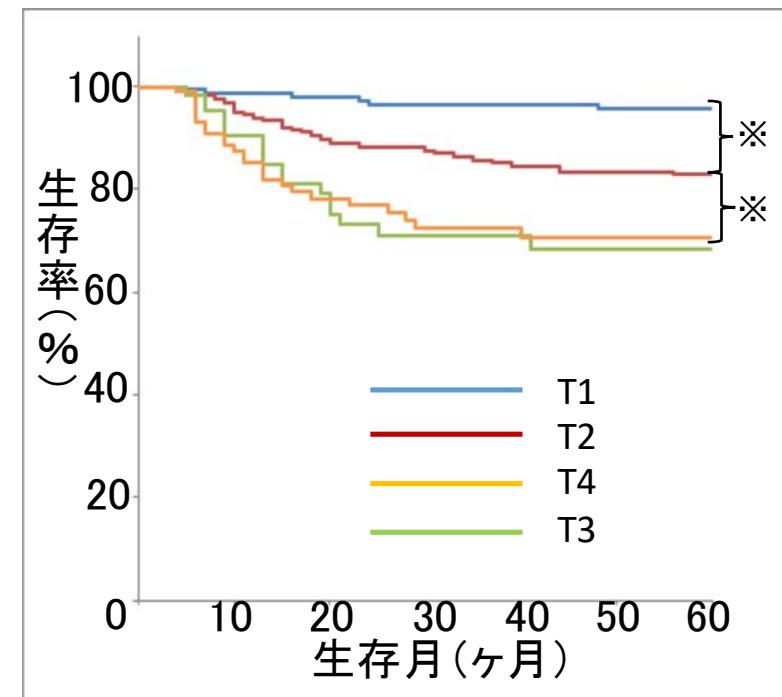
原発部位別
5年疾患特異的生存率(DSS)

神戸大学病院における口腔がん診療

T分類別の治療成績



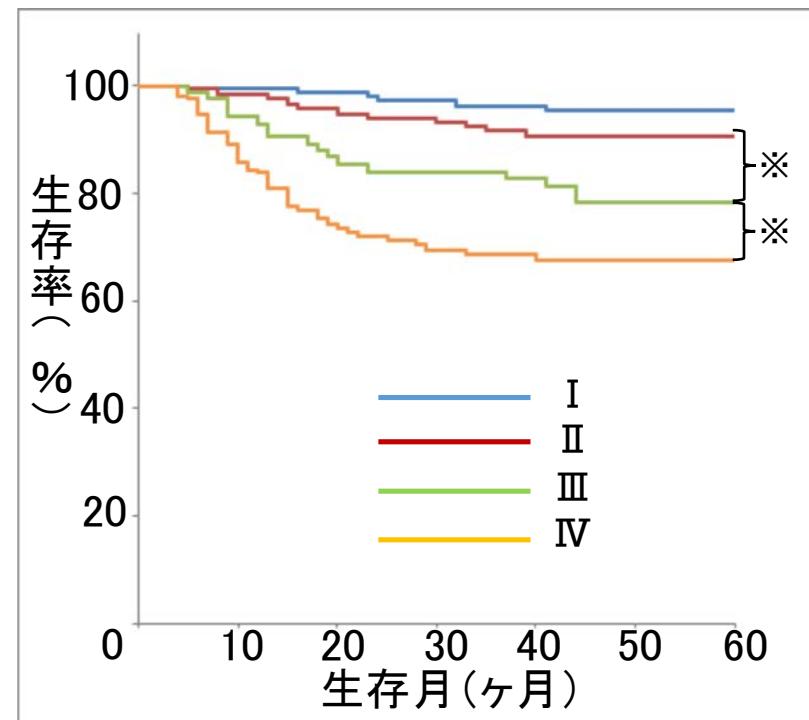
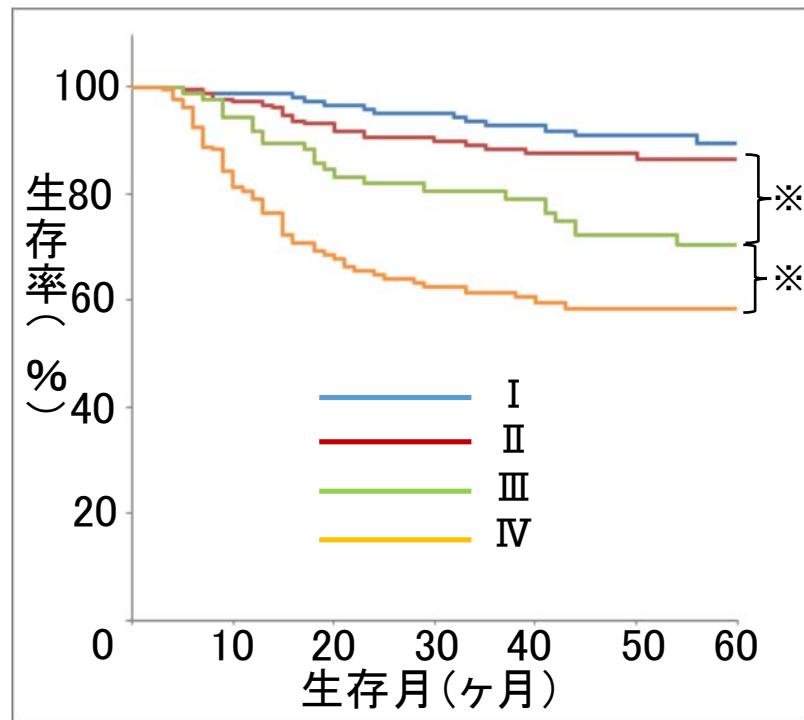
T分類別
5年全生存率(OS)



T分類別
5年疾患特異的生存率(DSS)

神戸大学病院における口腔がん診療

Stage別の治療成績



改訂版

日常の口腔外科

病診連携 SMART & SMOOTH

◆ 编著 古森孝英

◆ 共著者 梅田正博 横尾 駿 渋谷恭之 古土井春吾 南川 勉 鈴木泰明 緒谷早苗
藤岡 学 立石千鶴 明石昌也 長谷川巧実 植原晶子 松本耕祐



永末書店

口腔癌の注意すべき初期病変

- ① 明らかな原因がないびらんや潰瘍
- ② 白斑や紅斑
- ③ 炎症所見の乏しい腫脹や硬結
- ④ 原因不明の疼痛や知覚鈍麻
- ⑤ 抜歯窩治癒不全

明らかな原因がないびらんや潰瘍



2週間経過観察し、生検

早期浸潤癌

2週間洗浄と投薬

病変消失

白斑や紅斑



生検にて **早期浸潤癌**

炎症所見の乏しい腫脹や硬結



エプーリス



骨肉腫

原因不明の疼痛や知覚鈍麻



歯周炎による歯肉膿瘍および外歯瘻と診断



オトガイ神経麻痺を認め、生検

下顎歯肉癌と診断

拔歯窩治癒不全



左上7拔歯後治癒不全

生検→扁平上皮癌



右上6拔歯後残根抜歯依頼

生検→扁平上皮癌

癌化する可能性がある疾患

- ① 白板症
- ② 紅板症
- ③ 乳頭腫
- ④ 扁平苔癬
- ⑤ 囊胞性疾患
- ⑥ 色素性病変

